

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは 広報室

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地

TEL. 075-312-1214 FAX. 075-316-3115 <http://www.gs-yuasa.com/gyp/jp>

2010年8月18日

**鉄道用リチウムイオン電池モジュール「LIM30H-8A」を活用したシステム
～近畿車輛株式会社殿開発の米国向け次世代型LRV営業先行車「LFX-300」に搭載決定～**

株式会社 GSユアサ(社長:依田 誠、本社:京都市南区)が製造・販売している産業用リチウムイオン電池モジュール「LIM30H-8A」を活用した車両駆動用蓄電池システムが、近畿車輛株式会社(社長:櫻井 紘一、本社:大阪府東大阪市。以下、近畿車輛)殿が開発されました米国向け次世代LRV(Light Rail Vehicle)営業先行車「LFX-300」に採用されました。

本車両駆動用リチウムイオン電池システムは、近畿車輛殿と共同で開発いたしました。小型・軽量で高出力の当社リチウムイオン電池と、近畿車輛殿の高度なLRV技術の組み合わせが省エネルギーかつ洗練された次世代LRVを誕生させました。

「LFX-300」は、米国市場向けリチウムイオン電池駆動100%低床LRVで、電化区間走行時に必要に応じて架線より蓄電池に充電し、非電化区間を蓄電池からの電力供給により走行できる次世代型車両です。また、電化区間、非電化区間両方において、回生ブレーキにより発生する電力を蓄電池に吸収し、有効利用することができる、省エネルギーで環境に優しいシステムです。2010年5月より、近畿車輛殿工場内試験線での試験走行が行われており、今秋以降は米国でのデモンストレーション走行が予定されています。

GSユアサの大型リチウムイオン電池は、航空・宇宙などの特殊用途、無人搬送車や鉄道用回生エネルギー吸収システムなどの産業用途などですでに実用化されています。大きな需要拡大が進んでいる電気自動車やハイブリッド自動車などへの車載用電池とともに、産業分野でも順次用途拡大を図り、環境負荷低減に貢献してまいります。

「LIM30H-8A」は、鉄道用途(架線レス鉄道車両、鉄道用電力貯蔵装置、ディーゼルハイブリッド車両など)をはじめとする産業用大容量ハイブリッドシステムなどを目的に開発・実用化された製品です。

【「LIM30H-8A」の特長】**1. 大電流充放電性能**

最大許容電流600A、連続通電電流100Aでの安定した充放電性能を実現。

2. 内部抵抗を低減することにより高い入出力性能と長寿命性能を実現**3. 軽量・コンパクト**

モジュール外装部品に樹脂材料を使うことで小型・軽量化を実現。また、樹脂材料本来の高い絶縁性により、高電圧での使用を実現した。

4. 強制空冷式にも対応可能

モジュール本体に冷却風を導入することにより、効率的な空冷を可能とした。

5. 電池の状態を常時監視する電池監視装置を標準装備

従来の産業用リチウムイオン電池で実績のある電池監視装置を標準装備。全セル電圧およびモジュール温度を常時監視し、また電池の情報を充電器やシステムに送信する機能を持つ。

また、当社製BMU(バッテリー・マネジメント・ユニット)の装着により、外部へのデータ出力も可能。

【「LIM30H-8A」の仕様】

外形寸法(mm)	W:231×D:389×H:147	重量(kg)	約20
公称電圧(V)	28.8	1セル当たりの公称電圧(V)	3.6
公称容量(Ah)	30	動作電圧範囲(V)	23.2~33.2
最大許容電流(A)	600	連続通電電流(A)	100
使用温度範囲(°C)	0~45	監視装置	全セル電圧監視 モジュール温度監視

【写真】

- 産業用リチウムイオン電池モジュール「LIM30H-8A」



2. 近畿車輛殿が開発された営業先行車「LFX-300」



[この件に関するお客様からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ 産業電池電源事業部 新エネルギー本部 TEL 03-5402-5816

[この件に関する報道関係からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ 広報室

TEL 075-312-1214